

生徒保健委員会活動実践報告：
ピア・サポート的な実践

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-06-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 亀山, 寿栄, 山本, 章, 赤田, 信一 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00010323

生徒保健委員会活動実践報告

—ピア・サポート的な実践—

Student Health Group Activity

Practical Research Report

—Peer Support Activities—

亀山寿栄*・山本 章***・赤田信一**

Hisae KAMEYAMA, Akira YAMAMOTO, Sinichi AKADA

(平成13年12月10日受理)

I はじめに

人間関係が希薄であると言われる現代、中学生のいじめや不登校、突発的な暴力などが問題となっている¹⁾。人とどのようにつきあったらよいのかわからない者、人との距離の取り方がわからない者、自分の気持ちを言葉に表現できずに暴力に訴えてしまう者など様々である。

また、自己主張をしっかりできる者が増加する一方で、自分とは異なる欲求を持つ者たちとの調整や自己の誤った認識の修正をする能力を身につけずに育ちつつある者が増えていると述べられている²⁾。

附属浜松中学校においても保健室を訪れる生徒の中には、上記のように、人間関係にとまどっているのではないかと思われる生徒がいる。そこで、下記のような実践を試みた。

II 実態把握のためのアンケート調査

平成12年10月、全校生徒(361名)を対象に実態把握のためのアンケート調査を質問紙形式で実施した。(資料1)27項目の質問の内、人と人との関わりに関する項目の一部について見てみると次のような結果が得られた。

1、「悩み事があった時、どのように対処しますか」

の質問に対し、「誰かに相談する」と回答した178名に相談相手を聞いた。

(図1)

どの学年も、友だちに相談すると答えた者が圧倒的に多かった。

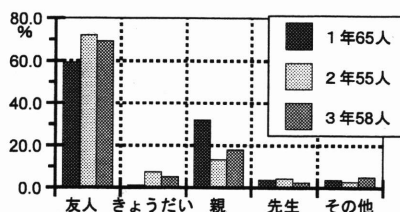


図1 悩みを誰に相談しますか

<表1 悩みの内容>

	1年生	延人数	2年生	延人数	3年生	延人数
1位	友人関係	15	友人関係	22	受験	31
2位	勉強	9	勉強	8	友人関係	25
3位	睡眠時間	6	部活	7	体育大会	9

*静岡大学教育学部附属浜松中学校

**静岡大学教育学部保健体育講座

2, 「悩みがありますか」の質問に対し、「ある」と回答した189名に悩みの内容を聞いた。
 (表1) 自由記述で回答を求めたため、類似する項目をまとめた。1, 2年生は「友人関係」が最も多く、3年生も「受験」に次いで多かった。

〈資料1：実態把握のためのアンケート〉

- アンケート H12.10 調査の目的： 日者の生活を振り返り、高校への関心を深め、これからの保健委員活動に調査結果を生かしていく
1. 学年、性別を記入してください。
 () 年 男・女
2. 朝の気持ちをよく保たれる ① 時々保ちよく保たれる ② ほとんど気持ちよく保たれない
3. 朝食は朝ごはんを食べるか、
 ① 食べる ② 食べない ③ ほとんど食べない
4. 3の質問で「①食べる」「②ほとんど食べない」と答えた人に答えます。その日1日どのくらいですか。
 ① 全くというわけではない ② ほとんど気分
5. 日々の生活リズムを定めていきたいですか。
 ① 決めている ② 決めていない
6. あなたは、朝目が覚めていると思いますか。
 ① 思う ② 思わない
7. あなたは、朝目が覚めていると感じますか。
 ① 感じる ② 感じない
8. 悩みがありますか。
 ① ある ② ない
9. 8の質問で「①ある」と答えた人に聞きます。具体的にどんな悩みですか。同じようなことで悩んでいる人も他にもいます。一つの悩みをみかんで解決して欲しいと思いますので、あなたではあるだけ書いてみてください。
10. 空気に聞きます。悩みがありましたか。どのように解決しますか。
 ① 誰かに相談する
 ② 自分で考える
 ③ 別のことです
 ④ その他 ()
11. 10の質問で「①誰かに相談する」と答えた人に聞きます。誰に相談しますか。
 ① 友だち
 ② きょうだい
 ③ 親
 ④ 先生
 ⑤ その他 ()
12. 10の質問で「②自分で考える」「③別のことです」と答えた人に聞きます。なぜ、相談しないのですか。
 ① 相談する人がいないから
 ② 人に相談したいと思わないから
 ③ その他 ()
13. 最近、朝と夜を比べてみますか。
 ① している
 ② あまりしない
 ③ 全くと言っていいほどしない
14. 朝と夜を比べていますか。
 ① 朝はいい ② まあいい ③ あまり朝はいい ④ 朝はいい
 ⑤ 朝はいい ⑥ まあいい ⑦ あまり朝はいい ⑧ 朝はいい
15. 朝に自分の気持ちを表現してあげたい、と願うことはありますか。
 ① よくある ② 時々ある ③ あまりない ④ ほとんどない
16. 朝に悩んでいる、あなたは朝に悩んでいると思いますか。
 ① 思う ② まあ思う ③ あまり思わない ④ 思わない
17. 朝に悩んでいる、あなたは朝に悩んでいると思いますか。
 ① 思う ② まあ思う ③ あまり思わない ④ 思わない
18. 学校は楽しいですか。
 ① 楽しい ② まあ楽しい ③ あまり楽しくない ④ 楽しくない
19. 朝やけが以外で学校を休みたいと思ったことがありますか。
 ① よく思う ② 時々思う ③ 思わない
20. 最近、イライラしたりおこりやすくなる回数がありますか。
 ① よくある ② 時々ある ③ ほとんどない
21. 心の休養(スリッパ)をとるために、あなたはどのようにしていますか。(2つに○をつけてもよい)
- ① 休む(自分の気持ちを休ませる)をする
 ② 自分だけのこと(趣味など)をする
 ③ 家族に話をする
 ④ 他人や物に当たって気分を晴らす
 ⑤ たばこを吸うなど、いけないと思われることをしてやる
 ⑥ 寝る
22. 19の質問で、①②に○をつけた人に聞きます。それをスリッパを休ませましたか。
 ① はい ② いいえ
23. 19の質問で、③④に○をつけた人に聞きます。それをスリッパを休ませましたか。
 ① はい ② いいえ
24. 23の質問で、「あまりできなかった」と答えた人に聞きます。それをスリッパを休ませる方法がありましたか。
 ① ありました ② ありません
25. あなたは、自分のことが好きですか。
 ① 好き ② だいたい好き ③ あまり好きではない ④ 嫌い
26. 25の質問で「①好き」「②だいたい好き」と答えた人に聞きます。自分の好きなところがありますか。
 ① 音楽(歌とかスイング)
 ② 性別
 ③ いやなところも含めて全部好き
 ④ よくわからないかたにかかるとか好き
27. 25の質問で「③あまり好きではない」「④嫌い」と答えた人に聞きます。自分の好きなところがありますか。
 ① 音楽(歌とかスイング)
 ② 性別
 ③ よくわからないかたにかかるとか好きではない
 ④ その他 ()

3、「病气やけが以外で学校を休みたいと思ったことがありますか」の質問に対し、「よく思う」「時々思う」と答えた202名(以下「思う群」という)と「思わない」と答えた156名(以下「思わぬ群」という)を下記の質問項目について比較した。

(1) 「悩みがありますか」(図2)

学校を休みたいと「思う群」は、「思わぬ群」より、悩みが「ある」と答えた者が多かった。

(2) 「悩み事があった場合、どのように対処しますか」の質問に対し「自分で考える」「別のことで紛らす」と答えた者に、なぜ相談しないのかを聞いた。(図3)

学校を休みたいと「思う群」は、「思わぬ群」より「相談する人がいないから」と答えた者が多かった。

(3) 「学校において、あなたは大切な存在だと思いますか」(図4)

学校を休みたいと「思う群」は、「思わぬ群」より大切な存在だと「あまり思わない」「思わない」と答えた者が多かった。

(4) 「心の休養(ストレス解消)を取るために、あなたはどのようにしていますか」(図5)

学校を休みたいと「思う群」は、「思わぬ群」より「誰かと話す」と答えた者が少なかった。一方、「他人や物に当たって気分を晴らす」と答えた者が多かった。

これらのアンケートの結果から、以下のことが明らかになった。

- 1, 悩みの相談相手は友人であり、反面、友人関係が悩みの内容でもあること。
- 2, 学校を休みたいと思う人ほど悩みがあり、それを相談する人がいないと思っていること。
- 3, 学校を休みたいと思う人ほど、学校における自分の存在を大切だと思わないこと。
- 4, 学校を休みたいと思う人ほど、人と話してストレスを解消するより、人や物に当たって解消するということ。

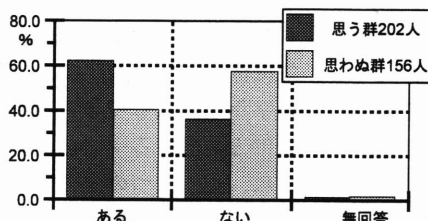


図2 悩みがありますか

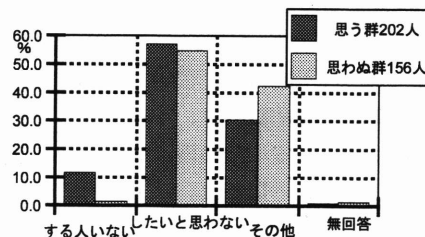


図3 なぜ相談しないのですか

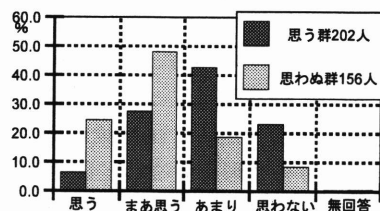


図4 学校で大切な存在だと思いますか

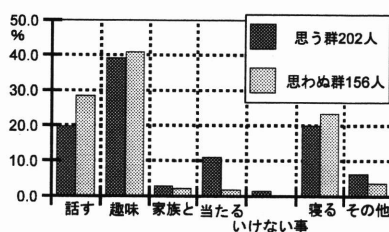


図5 心の休養のためにどうしていますか

III 実践内容

IIで示した生徒の実態をふまえ、「どうしたら仲間（ピア）との関係をよりよいものにできるか」について生徒保健委員会の中で話し合いを実施した。

- ・上級生は下の学年を経験してきた者として下級生にアドバイスができるのではないか。
- ・下級生は上級生と交流する中で悩みが解決したり安心したりするのではないか。

という意見が出され、次の2つの生徒保健委員会活動を計画した。

A, 学校行事前の話し合い活動

B, 心のまどBOXの活用

以下にA, Bの活動内容の詳細を述べる。

A, 学校行事前の話し合い活動

附属浜松中学校には、1年生から3年生までの縦割りで活動する学校行事が年間計画の中にいくつかある。その内、5月の「交流遠足」と9月の「体育大会」について、事前に話し合いを持つことにした。

<写真1：交流遠足前の話し合い>

1, 交流遠足前の話し合い

交流遠足は毎年行われ、平成13年度は5月11日に行われた。この遠足の主な目的は、縦割り集団の団結と連帯感を高めることである。教育実習生と共に学校から遠州浜海岸までの片道約7kmを歩いて往復し、海岸では砂の造形を作るなどして交流を深める。全ての活動が、縦割りで構成された20名程度の班毎に行われ、3年生が中心となって活動を進める。



その3年生が、クラス毎に事前に話し合いを持つことにした。話し合いに関する詳細は、以下に示すとおりであった。

(1) 話し合いの実施要項

- 1) 目的：下級生と良い人間関係を作ろう
- 2) 実施学年：3年生
- 3) 実施時間：4月24日の帰りの会を含む約30分間
- 4) 実施方法：各クラスの保健委員が司会進行を務める。(資料2)
 - ① 話し合いの目的を説明する。
 - ② 班毎に、自分たちが1, 2年生の頃の交流遠足で、3年生がしてくれて嬉しかったこと悲しかったことをあげる。(資料3)
 - ③ 今年の交流遠足で、自分たちは下級生にどのように接していくか話し合う。
 - ④ まとめ

<資料2：話し合いのシナリオ>

交流遠足がもうすぐあります。下級生とのよりよい関係を作る場となるように3年生としてどうしていったらいいのか考えていこうと思います。

保健委員会でなぜ、このようなことをするかをはじめに説明します。去年の秋、自分の

ことが好きかとか悩みはあるか等という内容のアンケートをとったのを覚えていますか。その結果、学校生活を楽しんでいる人は、悩みを人に相談したり、人と関わることでストレスを解消している。という結果が出ました。体だけでなく、心も元気になることを願っている保健委員会としては、下級生と、よりよい人間関係を作ることができる交流遠足を大事にしたいと思ったのです。

まず、はじめに自分たちが1, 2年生だった頃、3年生に対してどのようなイメージを持っていたのかを思い出して、グループで紙に書き出していきましょう。(例：怖い・話しかけにくい)

○班の人は発表してください。.....他のイメージが出たグループはありませんか。

では、1, 2年生の頃の交流遠足で、3年生の態度や言葉かけで「いやな気持ちになったり、悲しくなったり、つまらなくなったりしたこと」はどんなことだったか思い出してグループで書き出していきましょう。.....

○班の人は発表してください。.....他のことが出たグループはありませんか。

次に、1, 2年生の頃の交流遠足で、3年生の態度や言葉かけで「うれしかったり、安心したり、楽しくなったりしたこと」はどんなことだったか思い出してグループで書き出していきましょう。.....

○班の人は発表してください。.....他のことが出たグループはありませんか。

自分たちが3年生と関わった交流遠足の体験がいろいろ出されましたが、それらをふまえた上で、現、附属中の3年生である自分たちはどんな態度で下級生に接していったら、よりよい人間関係が築けるようになるかを話し合ってください。.....

○班の人は発表してください。.....他のことが出たグループはありませんか。

今までの3年生は、とても頼りになって、越えられない存在だったと思います。今年は自分たちが頼られる立場にあります。下級生からいろんな相談を持ちかけられたり、下級生の困っている様子を目にした時、自分の体験を元にアドバイスしたり、話を聴いたりして下級生をサポートできたら、今までよりもっと良い人間関係ができて、今以上に越えられない存在になっていくと思います。

信頼関係は、少しずつ築かれていくものだと思います。今回の交流遠足がその第1歩となるよう、今日の話し合いを思い出しながら交流遠足に臨みましょう。

<資料3：話し合いで使用したワークシート>

1, 自分たちが1, 2年生だった頃、3年生に対して持っていたイメージはどんなものだったか。
2, 自分たちが1, 2年生だった頃の交流遠足で、3年生の態度や言葉で「いやな気持ちになったり、悲しくなったり、つまらなくなったりしたこと」はどんなことでしたか
3, 自分たちが1, 2年生の頃の交流遠足で、3年生の態度や言葉かけで「うれしかったり、安心したり、楽しくなったりしたこと」はどんなことでしたか。
4, 附属中の3年生である自分たちは、どんな態度で下級生に接していったら、よりよい人間関係が築けるようになると思いますか。

(2) 交流遠足前の話し合いの結果と考察

<資料4：生徒の日記より>

① 当日の生徒の日記

「交流の仕方を再確認できた」「交流遠足以外でも、これからの自分たちの課題が見えてきた」という内容が書かれていた。(資料4)

教科	内容	時間	教科	内容	時間	他の持ち物
家庭学習	この3科目と交流遠足から学校の生活に備える教育、 何れも、学習態度、決断の行動が大切だ。 これに思ひ付いた。					
振り返り	今日の帰りの会での交流遠足の交流の持ちかた(この日の会)は、天 候が良かったので喋っていた以上にみんな真面目に考えて来て、事前に (思ってたより)思っていた(これなら交流遠足も、何者か大丈夫 かな)と思っていた。					

② 事後に実施したアンケート調査の結果

「はい」から「いいえ」までA, B, C, Dの4段階で回答させた。

心の状態	○	◎	◎	◎	◎
振り返り					
振り返り					

今日は放課後、交流遠足について話し合いました。先輩から自分たちの学校のことを話し合うことにより、私たちの学校の課題(交流遠足以外でも)が見えてきたので、とても良い話し合いだったと思います。今回学んだことをしっかりと胸に刻んで、良い交流遠足にしたいです。

- ・ 「上級生(1年生の場合は2, 3年生、2年生の場合は1, 3年生と交流を楽しめましたか」(図6) 1, 2年生の大半が大半の生徒がAあるいはBと回答した。
- ・ 3年生に対しては「話し合いを交流遠足に活かしましたか」(図7) 半数以上の生徒がAあるいはBと回答した。

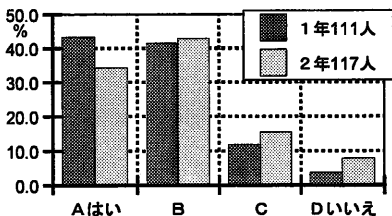


図6 上級生下級生との交流を楽しめたか

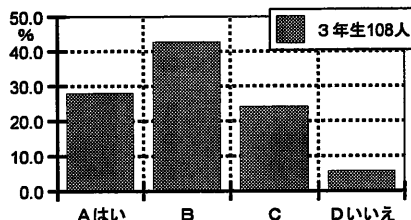


図7 話し合いを活かしましたか

以上の生徒の日記及び事後アンケート調査の結果から、3年生の各クラスでの事前の話し合い活動が、より良い人間関係を作るという目的を達成するために有効だったと考えられる。

2. 体育大会前の話し合い

附属浜松中学校の体育大会には、1年生から3年生の1組の集団、同2組の集団、同3組の集団の縦割り集団による競技がいくつかある。各縦割り集団毎の女子全員で行われるダンスと同じく各縦割り集団毎の男子が中心となり、縦割り集団全員で行われる応援合戦は大イベントとなっている。体育大会が近づくと、始業前、昼休み、放課後と連日熱心に練習が繰り返され、体育大会当日は参観者らによる採点で順位がつけられる。1年生は、初めての行事で雰囲気すらつかめない者もいる中、3年生は優勝を目指し、何とか集団をまとめようと必死な姿が毎年見られる。そこで、縦割り集団の中で互いを理解し合い、一つの目標に向かって支え合い励まし合う関係づくりを目指し、話し合いを持つことにした。話し合いに関する詳細は、以下の通りであった。

(1) 話し合いの実施要項

- 1) 目的：他学年と良い人間関係を作って体育大会を成功させよう

- 2) 対象学年：全学年
- 3) 実施時間：1年生は9月17日、2、3年生は9月13日の帰りの会を含む約30分間
- 4) 実施方法：各クラスの保健委員が司会進行を務める

<1, 2年生>

- ① 話し合いの目的を説明する。
- ② 3年生の応援とダンスのリーダーが、1, 2年生の縦割りクラスへ出向き、応援あるいはダンスの意義や思いについて語る。
- ③ これまでの練習はどんな様子だったかを振り返る。
- ④ 3年生の応援とダンスのリーダーの語りをふまえて、これからどのように練習に取り組むかについて話し合う。
- ⑤ まとめ

<3年生>

- ① 話し合いの目的を説明する。(資料5)
- ② 1, 2年の時の体育大会の練習で3年生から受けた態度・言葉の中から嬉しかったこと、悲しかったことをあげる。(資料6)
- ③ ロールプレイを行い、上級生の厳しい態度・優しい態度を演じた後、下級生役を演じた後、それぞれどんな感情がわいてきたかを発表する。
- ④ これからの練習で下級生とどのように関わっていったらいいのかについて話し合う。
- ⑤ まとめ

<資料5：保健委員長が作成したシナリオ>

「1, 2年生との関わり方を考えよう」

はじめに、今年の5月にも同じ様な趣旨の話し合いを開いたのを覚えていますか。そして、今年の29日には、体育大会があります。早速、各縦割りで練習を始めていますね。そこで大切になるのが、各学年間での交流の仕方ではないでしょうか。今日の話し合いでは、主に体育大会に向けての1, 2年生との関わりについて考えてみましょう。

まず、交流遠足での交流はどうだったか振り返ってみましょう。グラフを見てください。多くの人が話し合いが役に立ったと言っていますが、満足のいく交流はできていなかったようです。その時の反省の中には「学年で固まってしまった」という意見が多く見られました。

次に自分たちが1, 2年生だった頃の体育大会で、どのように上級生と関わってきたか思い出してみましょう。私たちは、縦割り種目の練習の時、3年生の思いや、やる気を感じ、協力することができたのでしょうか。各自思い出してみましょう。

では、3年生の態度や言葉かけで嬉しかったこと・悲しい気持ちになったことを各班で話し合っ、プリントに書き出してみましょう。

:

◎では、**班の人は発表してください。

:

◎他の意見が出た班はありませんか。

:

3年生のかける言葉に、1, 2年生は敏感ですね。では、今出てきたような言葉を聞いて実際にどう感じるか、言葉を体験してみましょう。2人か3人でグループを作り、どちらかが、なかなか練習についていけない下級生、そして、もう1人が3年生という設定にします。3年生の役の人から、まず、下級生に優しい言葉で教えてあげてみてください。下級生役の人はどう感じましたか。同じように厳しい言葉で注意してみましょう。では、下級生役の人はどう感じましたか。2人で役を代えてやってみて、2つの口調から感じたことをプリントに書き出してみてください。まず、私たち2人がやってみます。

では、始めてください。

時と場に応じ、厳しい指導も必要かもしれませんが、みんながいやな思いがなく練習ができることも大切ですね。これらのこともふまえ、私たちは1, 2年生と体育大会を通しどのように関わっていけばよいのでしょうか。3年生にできることを各班で話し合い、プリントに書き出してください。

今回の話し合いの参考にするためにとったアンケートに多く見られたのが「下級生のやる気がない」という意見でした。確かに私たちの思いが強い分、下級生の態度や思いに物足りなさを感じることもあるのかもしれません。でも、私たちも、1, 2年生の時、そんな態度ではなかったでしょうか。そして、私たちがこの行事にこんなに夢中になるのも、その時の先輩の姿を見たからでしょう。私たち3年生の思いも、きっと伝わります。一人一人が1, 2年生と接するときに、今回の話し合いで考えた、よりよい交流を思い出して実行してみましょう。いい人間関係を作って体育大会がすばらしい思い出となるように頑張っていきましょう。

<資料6：話し合いで使用したワークシート>

2.② うれしかったこと

- 手紙に「一緒にダンスを元貝張ろう」というようなことを書いてくれたこと。(1年3月)
- 時にはまがしく...でもすごくやさしかった。
- わがままなことをすごくでかいに教えた。
↳ すごくやさしく

3. やさしい言葉から感じたこと

先輩も一生懸命やっていると励まされて、うれしい気持ちになる。

2.③ 悲しかったこと

- 元貝張りの日に根から「全然ダメ」とか「ムカツク」とか言ってきたこと。
- いつも怒っていて、元貝張でもほめてくれた。

3. 厳しい言葉から感じたこと

嫌なってしまうややる気なくなってしまう。楽しくなくなってしまう。(つまり、)

4. これから、どう関わればよいか
のの (女)

- 過去に嫌だったことはせず
うれしかったことをする。
- 自分自身がやる気を持ち、
下級生に押し、熱意を伝える。

下級生のやる気のなさを…!?
↓
自分ら5はどうしたらいいだろうか?

4. これから、どう関わればよいか
のの (男)

- 上下関係をはっきりさせる。

↓
1, 2年生に言うことを聞いて
もらうために。

Why?
1, 2年生が車に乗りに来たが、たろ…
1だけめがたつから。

(2) 結果と考察

1) 話し合いの前後で各学年の半数60名ずつを対象に質問紙形式のアンケート調査を行った。「感じる」から「感じない」まで1, 2, 3, 4, 5の5段階で回答させた。(資料7)

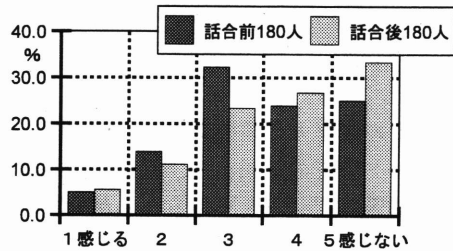


図8 他学年との関わりが難しいと感じますか

「体育大会のダンス・応援の練習時、他学年の人との関わり方が難しいと感じますか」(図8)

5難しいと「感じない」と答えた者の割合が話し合い後に増加した。

2) 話し合いの後、各クラスの保健委員18名と3年生の応援とダンスのリーダー6名(合計24名)に質問紙形式のアンケート調査を行った。1, 2, 3, 4, 5の5段階で回答させた。(資料8)

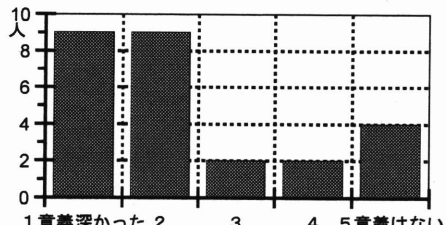


図9 話し合いを持ったことは意義深かったか

・「体育大会についての話し合いを持ったことは意義深かったですか」(図9)

1あるいは2(意義深い)と答えた者が多かった。

・「話し合い前後で各集団の練習に臨む姿勢に変化はありましたか」(図10)

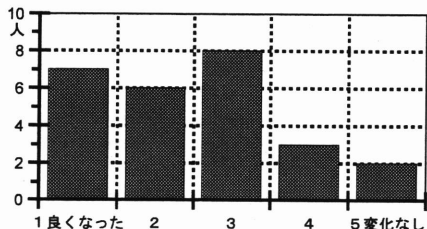


図10 話し合い後、練習姿勢に変化があったか

3(どちらでもない)と答えた者が最も多かったが、1あるいは2(良くなった)との答えが4あるいは5(変化なし)と答えた者より多かった。

・「話し合いを持つことで人との接し方が良くなったと感じますか」(図11)

3(どちらでもない)と答えた者が最も

多かったが、1（良くなった）と答えた者が次に多かった。

3) 体育大会後、全校生徒（在籍364名、回収323名）へ質問紙形式のアンケート調査を行った。（資料9）

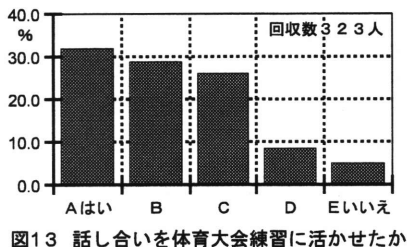
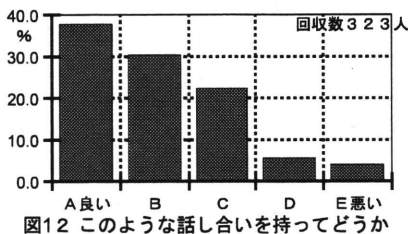
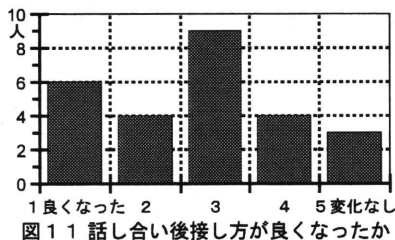
・「このような話し合いを持ったことはどうでしたか」（図12）

AあるいはB（良い）と答えた者を加えると6割を越えた。一方、DあるいはE（悪い）と答えた者は、加えても1割足らずであった。

・「話し合いを体育大会の練習に活かすことができましたか」（図13）

AあるいはB（はい）と答えた者を合わせると約6割だった。

以上の体育大会前の話し合い活動前後でのアンケート調査の結果から、話し合いによって人との関係に難しさを感じるものが少なくなったり、ダンスや応援の練習に対する態度が良い方に向かうなど「他学年と良い人間関係を作って体育大会を成功させよう」という目的達成のために体育大会前の話し合いが有効であったと考えられる。



3. 話し合い活動の成果

日常生活、特に生徒同士で行事を完成させていく過程では、人間関係のトラブルがしばしば見られる。それを何とか解決しようと努力することで、人間関係の作り方を体得できると考えられる。

生徒自身も、話し合いの中で自分自身を振り返ったり、人との接し方について具体的に考える機会になり、事前の話し合い活動を行ったことを良かったと感じている。

<資料7：話し合い前後のアンケート>

アンケート（保健委員、ダンパ履責任者用） 必要事項を記入し、該当するところに○をつけてください。

1. 私は、()年生の(保健委員・責任者)です

2. あなたのクラスにおいて、体育大会についての話し合いを持ったことは意識深いことでしたか。

意識深い 2 3 4 5 意識はない

3. あなたのクラスにおいて、話し合いの前と後とはダンスや応援の練習に臨む姿勢(団結して頑張ろうという意気込み)に変化はありましたか。

良くなった 2 3 4 5 変化はない

4. あなたの周りの人について聞きます。このような話し合いを持つことで人(他学年を含む)との接し方が良くなったと感じますか。

良くなった 2 3 4 5 変化はない

5. このような話し合いを持つことについて、今後改善すべき点があれば書いてください。

<資料8：保健委員等へのアンケート>

アンケート 必要事項を記入し、該当するところに○をつけてください。本日中に保健委員等へ送付してください。

1. 私は、()年生の(男・女)です。

2. あなたが体育大会のダンスや応援を「がんばろう」という気持ちは、正面に言って、今、どのくらいですか。

少ない 2 3 4 5 多い

3. あなたは、体育大会のダンスや応援の練習の時、他の学年の人との関わり方が難しいと感じますか

感じる 2 3 4 5 感じない

4. あなたは、体育大会のダンスや応援を、他の学年の人たちと協力してよりよいものに作り上げていけそうですか。

いけそう 2 3 4 5 いけそうもない

事前事後のアンケート調査の結果や生徒の感想などから「交流遠足前の話し合い」や「体育大会前の話し合い」を実施したことで以下のような成果を挙げることができる。

- (1) 課題解決や相互理解のために、話し合いを大切に思うようになった。
- (2) 上級生は下級生の声に耳を傾けながらリーダーシップをとるようになった。
- (3) 下級生は交流遠足や体育大会を通して上級生を目標とするようになった。

また、このような話し合いを持つにあたっては、保健委員自身が話し合いの目的などを十分に理解し、進行方法についても検討しておく必要があるが、その時間がどうしたら十分に確保できるかが今後の課題として挙げられる。

B、「心のまど」BOXの活用

平成13年5月から「心のまど」と名付けられたBOXを廊下へ設置した。設置の理由は、下記の通りである。

- ・ 1人が経験した事柄やその時の気持ちなどを他の生徒が知ることで、人との関係に困った時、その内容を参考にすることで解決しやすくなることが予想される。
また、人との関係を作る様々な言葉や態度を知ることができる。
- ・ 身近に相談できる人がいなくても他の多くの人たちの考えを聞くことができる。

1, 実施方法

(1) 「心のまど」BOXの紹介

各クラス保健委員が、設置の目的や投書してほしい内容、管理方法について帰りの会で紹介した。

プライバシー保護のため、「心のまど」BOXは常に施錠をし、養護教諭しか開けることができないようにした。また、悩みなどの投書内容は保健委員会内で話し合って報告することにした。

(2) 縦割りでの話し合い

投書があると、生徒保健委員長が縦割りでの保健委員を召集し、話し合いを持った。投書された内容そのものを生徒に見せるかどうかは養護教諭が判断し、生徒に見せないものもあった。

<資料9：体育大会後のアンケート>

体育大会についての話し合いアンケート

体育大会、おつかれさまでした。さて、生徒保健委員では、体育大会に向けて話し合いも立ちました。それについて、アンケートを作りました。ご協力をお願いします。

Q1. このような話し合いを持ったことはどうですか

A ← E
良い 悪い

A ← E
良い 悪い

Q2. その時のクラスの雰囲気はどうでしたか

A · B · C · D · E

Q3. この話し合いも、体育大会の練習への役にたてられましたか

A · B · C · D · E

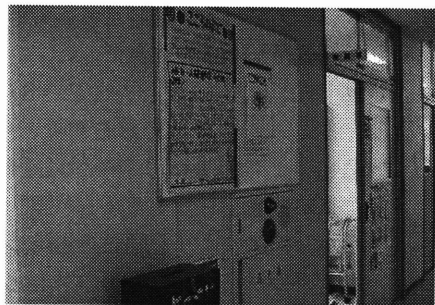
Q4. 今後、この交流を図るために、保健委員会では、どんな活動がござりますか

（ ）

（ ）

ご協力ありがとうございました。保健委員会

<写真2：「心のまど」BOX>



<写真3：縦割りでの話し合い>



一日の大半を過ごす学校での人間関係が体調に影響を与えているとすれば、よりよい人間関係、特に仲間（ピア）との関係を良いものにしていく努力が必要だと考え、実践に取り組んだ。

行事前の話し合い活動については、生徒にとって、今まではっきりと考えたことのなかった仲間との関係を意識的に考えることができる機会になったといえよう。

「心のまど」BOXについては、いろいろな出来事や感情を共有するという点で生徒も活用の意義を感じている。しかし、投書しにくい等の理由で利用者が少なく、仲間との人間関係づくりのために十分に機能しているとは言えない。投書しやすい状況に改善するなど、目的に向かってさらに活動を充実させていく必要がある。

心の健康を害する要因は様々で、仲間同士の問題だけでは解決するはずもない。しかし、生徒保健委員会活動を通して、より良い人間関係づくりについて生徒自身が考える機会を持つことは、自ら課題を見つけ、解決していく手だての一つにもなり、意義深いものと考えられる。今後も、生徒保健委員会活動を通して、心の健康に関する活動を続け、生徒と共に実践することで解決策を見つけていきたい。

参考文献

- 1) 文部科学省 (2001) 「平成12年度生徒の問題行動調査 (速報)」
- 2) 滝 充 (2000) 「ピア・サポートではじめる学校づくり」 金子書房